

414
A 833

秘 第一種

參部詳權銃八尺野一二

親 展

陸軍砲兵大尉時海右一第二十六報告

二十一年七月三十日馬尼拉發

天後へ明日 May 1st 方面より一人

二及徒ハ彈藥ニ對シテ

三葡萄牙牙領事曰ク獨露連合軍

ヲ追メタリ末月十日頃ハ戰事結局

トナリト真偽ヲ知ラズ

左ノ如シ各表面ノ裝ヒ私力ニ依

テ

ヲ窺フト云フ



414
A 833
1



極秘

第一種

本館 權第八四號ノ一二

明治三十一年七月三十日馬尼刺殺

陸軍砲兵大尉時澤右一第三十六報告

- 一、及徒ハ明日 May Tubig ノ方面ヨリ一大攻撃ヲ為ス管ナリ兵數ハ二千ニ過キス
- 二、及徒ハ彈藥ニ豊ナラス
- 三、葡萄牙領事曰ク獨露連合干涉ハ大ニ歩ヲ進メタリ来月十日頃ニハ戰爭結局ヲ見ル可シト真偽ヲ知ラス
- 四、アギナルドニ心服セザル有力者ノ姓名ヲ得タリ左ノ如シ各表面ヲ装ヒ私カニ彼ノ勝敗ヲ窺フト云フ

殊策一巻

時澤右一第三十六報告

馬尼刺殺

Jose Cerapio

Santa maria de pandi

Francisco Valencia

Santa Cruz de Malabon

Doctor Pangaly

Pampanga

La Familia Infanta

Rosario Juan Callej

五、小官ハ来月初旬「カグイテ」ニ至リ為シ得レハ戦線ヲ一覽スル積リナリ但シ浪速艦ニ於テ短艇ヲ出シ呉レザレバ多少延行ス可シ

(終)

明治三十一年八月四日馬尼刺殺

陸軍砲兵大尉時澤右一第三十七報告

一、七月三十一日米、第三輸送船四隻「カグイテ」湾ニ着ス

ニ、兵数、四千内外ラン即チ米陸兵ノ總數一万余乃至一万余ニシテ約一個師團ナリ

ニ、七月二十九日叛徒「マイクビッグ」及ヒ「ピチー」ダヲ退去シ米軍之ニ

代レリ

米軍ノ宿营地ハ別紙畧圖ノ如シ

馬尼刺南方「マリバイ」附近ニ上陸セン米兵約二千五百ニシ

テハ珊瑚砲十餘門アリ内十門「マリバイ」ニアリ土人ノ言ニ

依ル「マイクビッグ」モ十門アリト云フ

三、七月三十一日午後十一時ヨリ「マイクビッグ」ノ米兵「サンアントニ」アラブル堡ヲ攻撃シ翌日午前三時ニ至ル米軍利アラズ大尉

- 一、兵卒十即死、傷者二十余名ヲ出ス之レヲ米陸兵ノ募一役トス死者ハ「マリバイ」ノ收税局内ニ葬リシ
- 四、米兵ハ風紀甚ダ嚴肅ナラズ土人往々輕侮ノ声ヲ發ス「マイワ」
ビツクノ攻撃ミ利ヲ得ザリシ為メ一層此声ヲ高カラシメタリ
 出師準備モ亦整ハズ下士以下ハ外套ヲ携帶セズ護謨ヲ塗抹シタル方形布片ノ中央ニ一孔ヲ穿テタルモノヲ以テ之ニ代ニ
- 五、「マリバイ」附近ハ上陸セシ米兵ノ宿舍頗ル衛生ニ適セズ多クハ狹隘ナル土人ノ草家屋ニ多人数麇集シテ目下土人ヲテ頻リニ竹製ノ卧床ヲ製造セシメテアリ病者ハ未ダ多カラズ
- 六、米人「マリバイ」「カグイテ」間ニ電線架設中ナリ既成ノ電線ハ又軍中ヲ使用ス
- 七、「アラカン」州「マラボン」ニハ米兵ノ隻又影モ無し

- 八、現今霖雨ノ期ニ際シ馬尼刺ノ近郊道路多クハ甚ダ不良泥濘膝ヲ没スハ珊瑚知砲ノ材料ノ重大ニ過ギ此道路上ニ在テハ運轉甚ダ困難ナリ然レモ山砲ノ如キ輕便ナル砲ハ塹壁ヲ據ル西兵ニ對シテ効力少ナシ
- 九、陸上攻撃地点ハ「マラテ」方向ナル可シ
- 十、本月一日「リンガエン」灣岸ニ在ル「ダグバン」市ノ叛徒ニ降リ西兵約三千捕虜カトナル
- 「イロコス」州及「ビカマリ」州ニハ猶ホ多少抵抗カタ有ル西兵アリ此二州ヲ除ク外呂宋島概々及徒ノ号ノ令スル所タリ
- 呂宋島外ニハ「ロブロン」ノ二島及徒ノ手裡ニ皈ス猶ホ及徒ハ「イロイロ」征伐ヲ計畫シツクアリ
- 十一、叛徒ハ彈藥ニ欠乏ナリ大舉ニ馬尼刺ヲ攻撃スルコトニ當

分アラザル一可シ目下專ラ地方ノ戡定ヲカトシマアリ

十二、アギナルドハ地方官ヲ召集シカグイテヴェイエーホニ於テポ
 ルメラシ式(前報告附録トシテ)訣送セルアギナルドノ訓令中
 ニ有ル宜哲言式ヲ云フ)ノ舉行シ昨日之ヲ終リ地方官ノ集
 マルモノ無慮數百

十三、カウカン(馬尼刺ノ北方)方面ノ主將コバンタランガルシアハ八月
 一ロ「マイパホ」ニ於テ重傷ヲ負ヒ大佐バワ之ニ代ハリバワハ
 支那人ニシテ「アギナルド」ノ姪ヲ妻トスル者ナリ

十四、西軍ハ西洋人共同墓地及ヒ「サンタアンナ」ノ附近ニ在ル「スパボイ」
 村ヲ撤去シ叛軍ノ手ニホメタリ

十五、「カローケン」以北ノ鉄道ハ及徒ノ手ニ取ス之ヲ軍用ニ使用シテアリ

十六、總督府内ノ降服ノ議有ル者如シ一二ノ西班牙武官ホ
 テル、食卓ニ於テ生肉猶ホロミ上ル未ダホ葉草根ヲ喰フニ

至ラス降参ト何事ゾト慷慨スルヲ聞ク

馬尼刺市内食料大ニ欠乏シ市場ニ於テ十斤ノ蔬菜
 ヲ集メ得ガハ至リ然レモ未ダ降服ノ時機ニ非ス

モ、小官觀戰ハ通知未ダ米軍ノ来ラズ

(終)

圖米近附イバリマルケ於ニ旬下月七

國粵ノ地望箱

1
50000

註記

f 左 砲臺
d 米ノ前哨線
ed 莫以北及遠ノ点致地ナリ
又位ト米軍ノ哨兵何ヲ隔テ、相臨ス

マニラ灣

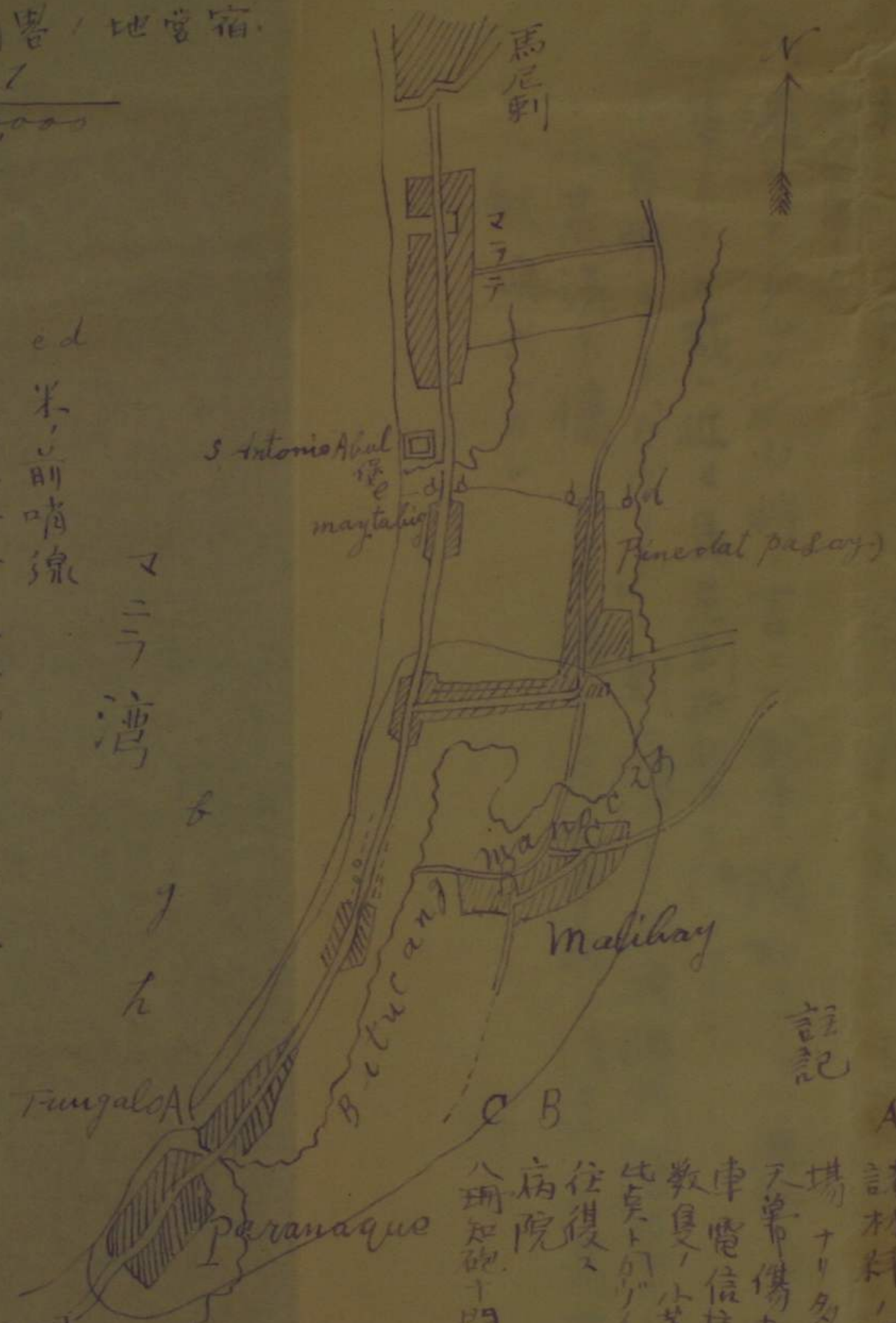
Fungalo A

Paranaque

C B

註記
A 諸材料、楊陸
場ナリ多数、
天幕傷者運搬
車電信柱ホアリ
敷員、小艇、船中、
比真トケイ、同ヲ
往復、
病院
八珊知砲十門、砲廠

ラスロニア
ニ至ル



明治三十一年八月六日馬尼刺殺

陸軍砲兵大尉時澤右一第三十八報告

一、只今從軍許可ノ件付米艦ヨリヒビヤヨリ左ノ書簡ニ
接キ(書簡ハ省各ス)本書簡ハ湾内凡浪險悪ナリシ為メ
近着ヤリ

二、過日アンダルソン少将ノ言ニ攻撃手ヲ開始スルトキハ通知スベシトノ
事ナリシカ或ハ近日馬尼刺攻撃手ヲ行フナラン

三、小官明日ヨリ「ガヴィテ」ニ到ル積リテ凡浪依然險悪ナレバ別
ニ小蒸流ヲ備ハサルヲ得サル可キ乎但シ浪速ノ小蒸流ニ
テハ航海六ツカシ

(終)

明治三十一年八月六日マラボン

陸軍砲兵大尉時澤右一第三十九報告

トシパリヨ、アグスチン、イー、タビテ氏、去ル四日夜た、如キ意味、電報ヲ本國政府ヨリ受取り昨五日其職務ノ引継ギヲ為セ

貴官、其本職及ビ兼職ヲトシヘルシハウテテス副總督讓

ト原因、不明ナリ或ハ左ノ二條ニ依リて

一、總督アグスチン氏、其土人が暴キニ提出セシ叛徒ト政廳

トノ講和條約中ニ僧徒ヲ島外ニ放逐セシトス余項アリシモ係

ハラズ之ヲ承諾セシトシ為リ僧徒ノ一大悪感ヲ惹起セリ但シ

此條約ハ本謀長テハロー氏以下ノ反対ヲ為リ破レリ

ニ前總督ハ概シテ一大軟派ニシテ一般軍人社會ノ喜ハザル所

トナリ氏ノ為ニハ實ニ氣ノ毒ナリ

(終り)